

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄住民の権利拡大（自治権拡大問題）(2)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43441">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43441</a>

大平  
システム  
所  
録

電信珠の抜印部  
コビ/部 郵政通  
特  
秘

国連宮崎大使宛池田大臣代理宛 37.9.25 着電

大平大臣、ラスク長官会談の件  
(日韓、沖縄問題)

大平大臣より

往電1081号に因り

又日本大臣は日韓会談、沖縄問題に因りラスク長官と  
次のとおり会談した。

1. (日韓問題省略)

2. 次いで、本大臣より沖縄に因り

今回プライス法改正案および来年度予算の未議案に  
おける審議には痛く失望した。

国務省でも努力していると思うが、11月には沖縄で選挙  
があり、日本国内でも大きな政治問題であるので、長官が  
決意をもって善処されることを期待すると述べた。

ラスクより、世田・ブネデー会談に基づきプライス法(修正  
により)長期の援助限度を獲得せんとしたか失敗したことは  
遺憾であり、今後1~2年間は年間ペースで行わねばならぬ  
得ぬと思う。さらに下院にて予算が昨年度のレベルに  
押えられたのも遺憾である。行政に因り限り、  
大統領も本件について遺憾を希望しており

美は昨2/日も上院の才委負命に本件の重要性を強調  
したところである。来年度予算については沖縄の経済  
および民政の向上の線に沿った各種の案が不足した点  
実現できるか獲得に努力した。このため国務、国防  
両省が緊密に協力している旨述べた。

未だ転電した (3)